

1. 実況上の着目点

① 前線が朝鮮半島から北日本を通り日本の東にのびている。前線上の日本の東には低気圧があって、東北東進。また、500hPa5460m付近の-24℃以下の寒気を伴うトラフが日本海北部にあって、東進。上空寒気と前線や低気圧に向かって流入する下層暖湿気の影響で、東～北日本では雷を検知し、1時間に20mmの強い雨を解析。

② 前線が華中から南西諸島、伊豆諸島を通り日本の東にのびている。前線上の四国の南と日本の東には低気圧があって、

それぞれ東北東進、北東進。前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、南西諸島や伊豆諸島では、1時間に30～50mmの激しい雨や非常に激しい雨を解析。南西諸島では雷を多数検知。

③ ①や②の前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなっており、西～東日本ではやや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は22日は日本の東を北東進、前線は北日本を南下する。また、1項①のトラフは、23日にかけて北日本を通過する。上空寒気と、1項①の前線や低気圧に向かって流入する下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴って強い雨の降る所がある。東～北日本では22日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

② 1項②の前線は、22日夜までに2項①の前線と一体化する。前線や低気圧に向かって850hPa θ e345K前後の下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では23日にかけて、伊豆諸島では22日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

③ 24日は、前線を伴った低気圧が夜には西日本に進む。前線や低気圧に向かって850hPa θ e345K前後の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり、雷を伴って非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島と西日本では24日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。対流雲が組織化した場合には、警報級の大雨になるおそれがあるので留意。

④ 2項①～③の前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。西～東日本では24日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：伊豆諸島3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図